

# 二次的利用に関するヒアリング 結果について

総務省政策統括官（統計基準担当）

# 民間企業に対するヒアリングの概要

- |            |                         |
|------------|-------------------------|
| 【ヒアリング対象者】 | 民間シンクタンク7社              |
| 【実施時期】     | 平成23年7月                 |
| 【ヒアリング方法】  | 直接聞き取り                  |
| 【ヒアリングの観点】 | 二次的利用の制度・運用に対する民間ニーズの把握 |

# 意見・要望の分類

民間シンクタンク7社にヒアリングした結果は、次のような類型に分類することができる。

- 二次的利用全般に関する意見・要望
- オーダーメイド集計に関する意見・要望
- 匿名データに関する意見・要望
- オンサイト利用に関する意見・要望
- 既存統計に関する意見・要望
- e-Statに関する意見・要望
- その他の意見・要望

# 二次的利用全般に関する意見・要望

- 利用制限及び公表義務に関するもの
  - ・投資アドバイスに利用したい（1社）
  - ・二次的利用の成果を公表する義務があるのは厳しい（1社）
- 提供データの時点に関するもの
  - ・データとして有効に利用できるのは2年前くらいまでであり、古いデータは利用価値がない（6社）
- 利用の案内に関するもの
  - ・具体的な利用サンプルが提示されていないと利用しづらい（1社）

# オーダーメイド集計に関する意見・要望

- 自動集計による提供に関するもの
  - ・表頭表側の集計結果の提供より、あらゆるクロス集計ができるなど、自由に分析を行いたい。ただし、操作性は重要である（4社）
- プログラム送付型集計に関するもの
  - ・プログラム送付により、すぐに集計ができる仕組みがあればよい（1社）
  - ・プログラム送付型集計であっても、トライ&エラーをするためには、集計結果の提供に時間がかかるようであれば、使用に馴染まない（1社）
  - ・統計データを使いこなす専門家は少ないので、プログラム送付型集計に対するニーズは低いのではないか（1社）
- 提供までの期間に関するもの
  - ・オーダーメイド集計について、集計結果の提供を受けるのに時間がかかるようではビジネスでは利用価値が低い（6社）

# 匿名データに関する意見・要望

- 秘匿加工度の異なる匿名データの提供に関するもの
  - ・ 同じ統計調査であっても、項目によって秘匿加工内容が異なる複数種類の匿名データがあってもよい (1社)
  - ・ パブリックユースファイルについて、オリジナルデータと同じ集計結果が出るのならニーズはあるが、二次元、三次元のクロス集計の結果が異なってくるようであれば、ビジネスでは利用できない (4社)
- 地域区分に関するもの
  - ・ ビジネスには地域情報が重要。この部分がないと利用できない (2社)
- 事業所・企業の匿名データに関するもの
  - ・ 事業所・企業対象調査の匿名化は難しいというが、秘匿が難しい大企業のデータが削除されていても使えるのではないか (1社)
- 利用者によるスキルに関するもの
  - ・ 一般利用者、民間企業はマイクロデータを扱う技術に乏しく、膨大な匿名データをもらったとしても、自由に集計するのはハードルが高い (1社)

# オンサイト利用に関する意見・要望

## ● ニーズに関するもの

- ・ 利用場所の制限がかかるオンサイト利用は、ニーズはないのではないかと(2社)
- ・ 統計を使いこなす専門家は少ないので、オンサイト利用に対するニーズは低いのではないかと(1社)
- ・ 手元に資料を置いて様々なデータを見ながら利用することができないのならば利用価値は低い(1社)
- ・ オンサイト利用など利用場所の制限があっても、欠損が少ない情報を使えるのであれば、その方が望ましい(1社)

## ● その他

- ・ オンサイト利用は不健全。誰が利用しても問題のないものを提供すべき(1社)

# 既存統計に関する意見・要望

## ● 提供方法に関するもの

- ・公表されたクロス集計が充実すれば、ビジネスニーズは相当程度達成できる（2社）
- ・日常的に使われる数種類の統計が使いやすい形でデータベース化されるなら、満足度は相当上がるはず（1社）
- ・労働問題について、労働力調査や就業構造基本調査を活用している。大多数の利用者にとっては基本的なデータが提供されれば十分ではないか（1社）

## ● 周知に関するもの

- ・既存の公表統計はPR不足（1社）

# e-Statに関する意見・要望

- e-Statの機能追加に関するもの
  - ・ 現行のe-Statは時系列でデータを揃える機能がなく不便。そのような機能がほしい（1社）
  - ・ 古いデータも利用価値があるので、e-Statに掲載してほしい（1社）
  - ・ 公表ベースのデータであっても見せ方を変えれば民間ニーズはあると思う。公表データを加工して利用できるツールを提供したり、販売したりするのもよいのではないか（1社）
  - ・ GISのアプリケーションと連携することには、ニーズがあるのではないか（1社）
  - ・ アプリケーションと連携して付加価値を付けた形での情報提供には、ニーズがあるのではないか（1社）

# その他の意見・要望

- 利用者によるスキル・統計教育に関するもの
  - ・ 場所を限定したオンサイト利用、プログラム送付型集計については、ニーズはないのではないか。統計を使いこなす専門家は少ない（1社）
  - ・ 統計教育が重要（1社）。

# 各府省等の利用受付窓口 における意見・要望

- 各府省及び統計センターの二次的利用受付窓口の受付記録等を確認
- 二次的利用制度の開始から24年2月まで
- 問い合わせ者

## 【大学関係者】

- ・ 教授等学術研究者
- ・ 大学院生
- ・ 学部学生

## 【大学関係者以外】

- ・ 民間企業（シンクタンク等）
- ・ 行政機関、地方公共団体

# 意見・要望の分類

各府省等の利用受付窓口におけるに受付記録等から把握された意見・要望は次のような類型に分類することができる。

- 二次的利用全般に関する意見・要望
- オーダーメイド集計に関する意見・要望
- 匿名データの提供に関する意見・要望
- その他の意見・要望

# 二次的利用全般に関する意見・要望

- 利用制限に関する意見
  - ・印刷して販売したい（不明）
  - ・公的利用でないと購入できないのか（民間シンクタンク）
  - ・医薬品の開発に利用したい（民間企業）
- 利用成果の公表に関するもの
  - ・学部生では公表手段がなく利用しにくい（大学）
  - ・公表について未定では申出できないのか（大学）
- 利用可能な統計調査の数について
  - ・利用できる統計調査を拡大してほしい（大学）

# オーダーメイド集計に関する意見・要望

- 提供までの期間に関するもの
  - ・オーダーメイド集計について、集計結果を早く提供してほしい（大学）
- 手数料に関するもの
  - ・予想以上に費用がかかる（大学）
  - ・手数料に関する情報が少ない。目安となる情報をホームページで提供してほしい（民間シンクタンク）

# 匿名データの提供に関する意見・要望

## ● 地域区分に関するもの

- ・ 現行の2区分では利用できない。地域区分が少ない（大学、民間シンクタンク）
- ・ 都道府県レベルで提供してほしい（大学）

## ● 年齢区分に関するもの

- ・ 年齢区分を各歳にしてほしい（大学）

## ● 利用環境に関するもの

- ・ 利用条件が厳しい。提供者側で利用場所を提供してほしい（大学）
- ・ 大学の講義等において現行の匿名データを利用したいが、セキュリティ上の利用制限が厳しい。また、自由に複製もできず利用が困難であり実用的でない（大学）
- ・ ネットに接続しないPCにアンチウイルスソフトは不要では（大学）
- ・ 利用を施錠可能な場所に限定しているが、間仕切りではだめか（大学）

# その他の意見・要望

- 案内等に関するもの
  - ・ ホームページの案内がわかりにくい (大学)
  - ・ サービスの利用者で意見交換できる場がほしい (大学)
- 民間企業における支障に関するもの
  - ・ 市場予測のための利用ができない  
(民間シンクタンク系の場合は、その市場予測を顧客に販売すること、建設業、製造業等の場合は、市場予測を基に販売戦略をたてること)
  - ・ 地域区分が粗いため地域分析ができない